



【医学用語解説】

膝蓋骨(お皿の骨)の骨化核(骨の成長の中心)は 2-6 歳頃出現し、骨格成長の終了までに骨化が完成しますが、なんらかの原因で骨化核が2つ以上に分裂しているものがあり、これが1つに形成されないと分裂膝蓋骨となります。分裂しているだけでは無症状ですが、これにランニング、ジャンプ動作等繰り返しスポーツストレスが加わると発症します。発生部位により3型に分かれますが、上外側の type がほとんどです。またそのほとんどは男子に発生します。

治療は大腿四頭筋(太もも前面の筋肉)のストレッチを中心とした保存療法を行ないますが、スポーツ強度の高い選手では分裂骨片の摘出手術を行なうことがあります。